

2002年 7月 14日 主日礼拝

司 会 ①二見兄 ②川井兄 ③小林猪兄
奏 楽
賛 美 聖歌520
使徒信条
主の祈り

賛 美 聖歌522(愛と賛美)
祈 禱 ①水間兄 ②川田兄 ③高木師

聖 書 マタイによる福音書9章37～節
音 楽 ① 森屋兄&仲間s
②③ ホルン(宮田四郎兄)

メッセージ 『収穫は多いが、働き人が少ない』
大川従道牧師

賛 美 明日はどんな日か(献金)
祝 禱

『収穫はたくさんあるのに、
働く人があまりにも少ない。』

(マタイ9の37・L B)



シンガポールに行く前に、この欄の原稿を書き終え、スタッフルームに残して出発したつもりであったが、帰国したら、その原稿が失われていて、あわててペンを執っている。原稿(現行)犯？。

アメリカのD新聞の尋ね人欄で、ある女性がふざけて夫を売りに出す広告をだした。「格安にて夫売ります。釣りおよび狩猟道具一式、ジーパン一本、シャツ二枚、長靴、黒毛のラブラドルレトリバー犬一頭、それに鹿肉五十ポンド付き。よい男。ただし十月から十二月までと四月から十月までのあいだはほとんど家にいません。価格は相談に応じます。」

広告が出たとたん、女性の家の電話は鳴りっぱなし。つぎの日の新聞に取り消しの広告を出すはめになった。

「格安にて夫売ります」の広告を取り消します。犬がほしい方ばかりで、夫をほしいという方がいなかったため。

アフリカで活躍されたシュバイツァー博士が、その人生を主に捧げたのは、ある新聞の広告を読んでから、と聞いている。これはホントの話。

天国に新聞があれば、いつも求人欄はいっぱい。「収穫は多いが、働き人が少ない」。天国民に告ぐ。祈り続けてほしい。

十日前の祈禱会直後、50歳代のご夫妻が、目に涙をいっぱい浮かべて「私たちは、残りの生涯を福音宣教のために捧げます。用いられるように祈ってください」と献身の決意を告白された。

その昔、私の少年時代。「献身者求む。学歴、才能問わず。将来の保証あり。但し経済的貧しさ、迫害、中傷に耐え、キリストの福音宣教のために命を掛ける者」。胸を熱くした日を思い出す。ああ、我が人生に悔いなし。感謝！

【大和ニュース】

- ・本日、入門講座Ⅱ、子聖、手話、学生会、FBI、囲、青年会、SS主任、ゴスペルあり。
- ・今週の水曜祈禱会(夜7時半～9時)は特別信徒聖会です。講師はケイラー先生。木曜祈禱会は大川先生。期待してのぞみましょう。
- ・聖書基礎講座は火曜10:30より。講師は武井先生。シャローム館にて。無料。
- ・金曜夜9時からの深夜祈禱会は、
- ・家庭集会は、田名(水曜10:30)、立野台(金曜13:30)、相模原矢部(金曜13:30)。
- ・今年も半年守られたことを感謝して、「上半期感謝献金」を捧げましょう。
- ・土曜礼拝は8時～9時、説教は小崎先生。(問題解決は、祈り込みから—)

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!
Aコース:使徒行伝18～21章 Bコース:詩篇13～33篇